（議長）
次に、萩原議員の発言を許可致します。

「萩原議員」
議長。

（議長）
「萩原議員」。

「萩原議員」
２７年度の予算では、町長の選挙公約が限られた予算の中で全てではないですが、組まれております。今日の追加議案でも、宿泊施設誘客促進の補助の対しても、議案もありますけれども、通告通りに２点について、質問致したいと思います。
宿泊施設に対する施設整備支援・誘致についてです。９月の町長の所信表明で、江差の観光を考える上で、大きな課題は宿泊施設の不足の問題であり、ご承知のように観光客の減少により、宿泊施設の閉鎖が続いている中にあって、特に姥神大神宮渡御祭や江差追分全国大会の時のように、全道あるいは全国から来町して頂く方が地元に宿泊できないという現状にあり、何とか出来ないかという声が多くあります。一方で、現在の宿泊施設は稼働率が１年間を通じて高いわけではなく、宿泊施設問題はそう簡単に解決できるわけではありませんが、新幹線が開業される平成２７年度末以降は少なからず道南への入込客は増えるはずであり、観光振興策と強化と共に宿泊施設の誘致対策にも努めて参る、と言っておりましたが、現在どのような誘致対策を行っているのか。また、町内にある既存の宿泊施設が廃業せず、観光客にとって魅力的な施設にするため、改修等に対する財政的な支援を積極的に検討したい、検討していくと言っていましたが、どうなっているのか。お答えをお願いします。

「町　長」
議長。

（議長）
「町　長」。

「町　長」
萩原議員の１問目、宿泊施設に対する施設整備支援・誘致についてのご質問

にお答え致します。
　宿泊施設整備に係る支援についてでございますが、現時点においては宿泊施設の改修に対する直接的支援は実施しておりませんが、昨年１２月に既存施設の改修ニーズについてのアンケートや聞き取り調査を実施したところ、宿泊施設の多くは老朽化が激しく、宿泊客の減少により経営が圧迫され、改修したいが資金不足等が理由で改修できずにいる等施設の維持に苦慮していることが明らかになりました。当町としても、既存の宿泊施設が改修され、宿泊客の快適性が高まり、集客数が増加すれば経営の安定化と地域の活性化にも繋がるものと考えております。これの一助となるよう町と致しましても、国が進める地方創生交付金等を活用し、施設改修等に対する助成等の施策を実施して参りたいという風に考えております。また、併せて宿泊客の朝食等に対する町内特産食材の提供・支援を行い、魅力ある宿の創出を行い、宿泊客の増による地域の活性化を図りたいと考えております。
　一昨年、９月、町単独条例であります江差町企業立地の促進条例による宿泊施設の開業に対する優遇措置のＰＲを改めて取り進め、町外の宿泊客の誘致についても検討していきたいと考えておりますが、まずは既存宿泊施設の改修と集客増に向けた取り組みを優先して参りたいと考えております。

（議長）
　「萩原議員」。

「萩原議員」
　はい。まず、宿泊施設の誘致対策については企業条例ということで謳っていますが、現存、やっぱり空いている町有地とか、民有地も結構空いているところありますね。民有地に関しては町の土地でないので何とも言えませんけど。そういう何ていうのですかね、そういう土地、こういう土地があるよっていうことで何かこう売り込みみたいな、ものもしていかなきゃならないと思いますけども、そういう売り込みというのは実際どこか、例えばその現在どこか行っているホテルの、経営しているホテルとか、町外で経営してるホテルとか、そういうところに誘致とか行っているのかお聞きします。

（議長）
　「追分商工観光課長」。

「追分商工観光課長」
　町有地の何というか宣伝というのですかね、ＰＲというのですか、そういう

部分については具体的にあの宿泊施設のみに向けてということはしておりません。ただ、あの確か前の議会でもあったかと思いますけども、町有地の有効活用ということで、売却含めて取り組みをしているということ、私の課でございませんが、そういうことはしているということで併せた形になるのかなっていう風にあのご理解頂ければなと思います。

（議長）
はい、「萩原議員」。

「萩原議員」
それで回答の中に、改修については行っていくということで大変多分今ある町内の旅館、施設ですか、大変助かると思いますけれども、その一方でやっぱりその後継者問題というのもあると思うのですよね。やっぱり改修はしていても、実際その何て言うのですかね、まあ旅館業に限らず、江差町のこの企業、商店街含めて全部、全体的にやっぱり後継者問題というのがあると思いますが、その後継者問題に対してもそのホテル、旅館業以外でもどこもありますけども、後継者問題に対しては何か考えはありますでしょうか。

（議長）
はい、「追分商工観光課長」。

「追分商工観光課長」
はい、あの只今ご指摘あった通り、江差のですね、商店街の問題ともこうちょっと相まった部分があるのかなという風に思っていますが。この後継者の問題につきましては、やはりあのその企業、企業が、経営が有る程度好転してなければ、やはり後継の方自体がここに残らないで外に出てしまうというような傾向があるようでございます。ですから、宿泊施設に限ってお話をすると、まずは既存の宿泊施設のお客さんを増やすということをどうすればいいのかというところからあの考えていきたいなということで、まああのさい、２回目の補正の部分になってきますけども、改めた提案を、させて頂きながらご理解を頂きながらですね、支援をしていきたいという風に考えておりますのでご理解ください。

（議長）
はい、萩原議員、２問目から。

「萩原議員」
はい。２問目に参ります。
ドラマや映画ロケ地誘致の推進についてでございます。先ほどの質問と同じく、９月の所信表明で、地元に住んでいる方には当たり前の景観に感じるかもしれませんが、町長から見てシンボルであるかもめ島や歴まち街区、寺院や石碑の多さ等を含め江差の景観の美しさは全国に自慢できる観光資源であり、景観の美しさを生かしたドラマや映画のロケ地誘致の推進に意を注いで参りますとのことでした。観光振興や経済効果の、を期待してとの考えだとは思います。最近、北海道では余市町がＮＨＫ「マッサン」が放送され、ロケ地等では観光客が賑わいをしてると聞いておりますが、では実際当町では誘致活動を行っているのか。また、景観の美しさを生かしたドラマや映画のロケ地誘致と言っていましたが、ドラマや映画に対して何か構想を持っているのか、お答え頂きます。

「町　長」
議長。

（議長）
「町　長」。

「町　長」
萩原議員の２問目、ドラマや映画ロケ誘致の推進についてのご質問にお答え致します。
江差をロケーションとした映画では、古くは昭和５４年「男はつらいよ」第２６作寅次郎かもめ歌や最近では平成１９年に「ジャイブ海風に吹かれて」の映画ロケなどいくつかの映画やテレビドラマでのロケがありました。また、平成２５年には大手ファッションブランドメーカーが宣伝媒体の作成のため、女優の宮﨑あおいさんがモデルとなり、かもめ島をロケ地として撮影が行われました。議員もご承知の通り、町内には自然や街なみ、各種文化財等多くのロケーションが存在しており、ロケーションとして採用された場合は、地域のＰＲ効果も非常に大きいものと考えております。現在は、函館フィルムコミッションにこれらのロケーションスポットを登録し、全国に向け情報を発信を行うほか、町や観光コンベンション協会のホームページにも観光スポットとして多くの写真を掲載する等しております。これらの情報を基に問い合わせがあった場合は、相手先が求めるイメージに沿って保有している情報を提供し、撮影が決まった場合には撮影に係る許可関連の確認やスタッフの宿泊、飲食業者の紹介、

エキストラの手配等スムーズな撮影に向け、向けた協力をしているところでございます。今後は更なるロケ地誘致に向け、町内関連団体と協議し、江差町単独のフィルムコミッションの立ち上げに向けて準備を進めたいと考えております。

（議長）
「萩原議員」。

「萩原議員」
町長が答えましたように、やっぱり函館ではフィルムコミッションというのがありまして、そのロケ地や情報やエキストラ募集のサポート等をしているということで、今答えた通り、町でも何らかの単独でやりたいということですので、是非それは実現して欲しいなと思います。その中でやっぱり、そのパンフレットを作って、函館フィルムコミッションなんですけども、やっぱりパンフレットを作りその映画関係者に送って、本当にもうただ見てもらう、売り込みっていうもの積極的にやってほしいと思いますので、思いますが、その辺については、お答えありましたら。

（議長）
「追分商工観光課長」。

「追分商工観光課長」
パンフの作成につきましては、現在のところ予定はしておりませんが、あのそういう方法が、有効だというような状況が把握できるようであれば、改めてですね、作成に向けた取組も併せてしていきたいということは検討していきたいという風に思います。

（議長）
はい、いいですか。

「萩原議員」
はい、いいです。

（議長）
はい、以上で萩原議員の発言を終わります。
２時２０分まで休憩致します。